
優秀若手構造研究者表彰（コンクリート系）の募集について（ご案内）

令和8年 7月 8日

一般社団法人 建築研究振興協会

会 長 勅 使 川 原 正 臣

一般社団法人 建築研究振興協会では、全国の建築関係の学科、学部、大学院等から標記の募集を下記により実施します。本募集は平成27年度から実施しており、令和8年度で第12回目となります。

つきましては、貴大学の建築関係構造分野担当教員並びに研究室に在籍中、または在籍した学生、若手研究者に周知して頂きますようご案内申し上げます。

記

1. 目 的

建築構造分野（コンクリート系）における優れた研究成果を挙げた将来有望な学生および優れた研究業績を挙げた若手研究者を表彰し、建築構造分野の活性化を促すことを目的とする。

2. 名 称

名称はそれぞれ以下とする。

1) 令和8年度「優秀若手構造研究者表彰（コンクリート系）」

The award of Japan Association for Building Research Promotion for an excellent young researcher on reinforced concrete structures

2) 令和8年度「優秀若手構造研究者表彰（コンクリート系・卒業論文）」

The award of Japan Association for Building Research Promotion for a promising young researcher on reinforced concrete structures

3. 対象成果・業績

- 1) 優秀若手構造研究者表彰（コンクリート系）の対象業績は、学部・大学院で実施したコンクリート系構造における研究とする。
- 2) 優秀若手構造研究者表彰（コンクリート系・卒業論文）の対象成果は、応募者が学部（工業高等専門学校専攻科を含む（以下同））で実施したコンクリート系構造における研究とする。

4. 応募資格

- 1) 「優秀若手構造研究者表彰（コンクリート系）」

博士前期課程に在学する大学院生、もしくは、博士前期課程修了後2年以内の者とし、これまでに1)の表彰を受けていない者とする。

- 2) 「優秀若手構造研究者表彰（コンクリート系・卒業論文）」

学部在学学生で、指導教員あたり1名とする。

5. 応募方法並びに該当論文

- 1) 「優秀若手構造研究者表彰（コンクリート系）」

①業績名（研究タイトル）、業績を表す論文等のリストを記した申請書（様式3）、及び、②推薦者による推薦書（様式4）、並びに、③リストに示す論文を、それぞれ電子データ（PDF ファイル）で提出する。

電子データは、Eメールにて「takada@kksk.or.jp」に提出する。

業績を表す論文は、応募者が主要な研究者として実施したコンクリート系構造に関するもので、学協会等に投稿し公表された研究論文とする。なお、その対象は博士前期課程在学中までの業績によるもので、前期課程修了後2年までに公表されたものとする。

推薦者は指導教員とし、原則として本協会の会員であること。推薦書（様式4）には、

応募者が論文の主たる著者であることの説明、業績の内容、その他特に優れている点などを 1,000 文字程度で記載する。

2) 「優秀若手構造研究者表彰（コンクリート系・卒業論文）」

①コンクリート系構造に関する卒業論文の題名と提出者の氏名が明記された卒業論文梗概（A4 で 2~4 ページ・書式自由）、②卒業論文の題名および提出先または提出予定先等を記した申請書（様式 1）並びに、③推薦者による推薦書（様式 2）を、それぞれ電子データ（PDF ファイル）で提出する。

電子データは、E メールにて「takada@kksk.or.jp」に提出する。

推薦者は卒業論文の指導教員とし、原則として本協会の会員であること。推薦書（様式 2）には、成果の内容、その他特に優れている点などを 600 文字程度で記載する。

6. 締め切り

1) 優秀若手構造研究者表彰（コンクリート系）

令和 8 年（2026 年） 1 2 月 1 8 日（金）（必着）

2) 優秀若手構造研究者表彰（コンクリート系・卒業論文）

令和 9 年（2027 年） 1 月 2 9 日（金）（必着）

7. 選考方法

表彰を受ける者は、本協会に設けた表彰選考委員会（委員長 勅使川原 正臣（名古屋大学 名誉教授））による審査にて選考し、決定する。

8. 結果の通知

選考の結果は、以下の期日までに本人および指導教員に通知する。

1) 優秀若手構造研究者表彰（コンクリート系）

令和 9 年（2027 年） 1 月 1 9 日（火）

2) 優秀若手構造研究者表彰（コンクリート系・卒業論文）

令和9年（2027年） 2月16日（火）

9. 公表

表彰を受ける者は令和9年（2027年）2月26日（金）までに本協会のホームページにて公表する。表彰式は令和9年（2027年）6月（予定）に行うものとする。

10. 表彰

- 1) 「優秀若手構造研究者表彰（コンクリート系）」は、令和9年（2027年）6月中旬開催予定の本協会総会にあわせて表彰式を行う。
- 2) 「優秀若手構造研究者表彰（コンクリート系・卒業論文）」は、令和9年（2027年）3月下旬までに、応募者の指導教員に表彰状を送付する。

11. 問合せ先ならびに申請書類の提出先

一般社団法人建築研究振興協会 事務局（担当 高田知明）

〒108-0014 東京都港区芝5丁目26番20号5階

Tel. 03(3453)1281／Fax. 03(3453)0428

E-mail <takada@kksk.or.jp>

[添付書類]

優秀若手構造研究者表彰（コンクリート系・卒業論文）申請書（様式1）

優秀若手構造研究者表彰（コンクリート系・卒業論文）推薦書（様式2）

優秀若手構造研究者表彰（コンクリート系）申請書（様式3）

優秀若手構造研究者表彰（コンクリート系）推薦書（様式4）

一般社団法人 建築研究振興協会の概要

これらは本協会ホームページ（<http://www.kksk.or.jp>）からもダウンロードできます。

優秀若手構造研究者表彰（コンクリート系・卒業論文）

申 請 書

令和 年 月 日

一般社団法人 建築研究振興協会 会長殿

(ふりがな)			
応募者氏名			
生年月日	年	月	日 (満 歳)
学部 (大学名・学部・学科名、卒業年 (見込み年))			
現在の所属及び住所			
名 称			
住 所 (〒			
電 話	メールアドレス		
自宅住所 (〒	)		
電 話 (携帯可)	メールアドレス		
卒業論文名			
指導教員名			

足りない場合は用紙を足して記載下さい

優秀若手構造研究者表彰（コンクリート系・卒業論文）

推 薦 書

令和 年 月 日

一般社団法人 建築研究振興協会会長殿

様式1による応募者を、優秀若手構造研究者表彰（コンクリート系・卒業論文）の候補者として推薦します。

応募者（被推薦者）氏名	
応募者業績名	
推薦者氏名	
推薦者所属大学・大学院 職位	
連絡先	電話 メールアドレス

推薦理由

推薦理由欄には、成果の内容、その他特に優れている点などを600文字程度でご記載下さい。

事務局整理番号	B		
---------	---	--	--

優秀若手構造研究者表彰（コンクリート系）

申 請 書

令和 年 月 日

一般社団法人 建築研究振興協会 会長殿

(ふりがな) 応募者氏名			
生年月日		年	月 日 (満 歳)
学部（大学名・学部・学科名、卒業年（見込み年））			
大学院博士前期課程（大学院名・専攻、修了年（在学中は学年））			
現在の所属及び住所 名 称			
住 所 （〒 ）		メールアドレス	
電 話			
自宅住所 （〒 ）		メールアドレス	
電 話（携帯可）			
業 績 名			
指導教員名			
主要発表論文リスト			
論文名・タイトル	共 著 者	発表先（誌名）	発表年月、巻・号

足りない場合は用紙を足して記載下さい

優秀若手構造研究者表彰（コンクリート系）

推 薦 書

令和 年 月 日

一般社団法人 建築研究振興協会会長殿

様式 3 による応募者を、優秀若手構造研究者表彰（コンクリート系）の候補者として推薦します。

応募者（被推薦者）氏名			
応募者業績名			
推薦者氏名			
推薦者所属大学・大学院 職 位			
連 絡 先	電話	メールアドレス	

推薦理由

推薦理由欄には、応募者が主たる執筆者であることの説明、業績の内容、その他特に優れている点などを 1,000 文字程度でご記載下さい。

事務局整理番号	M		
---------	---	--	--

一般社団法人 建築研究振興協会の概要

当協会は、内外の試験研究機関および研究者、技術者の連携を深め、その研究の振興と成果の普及を図るとともに、研究等情報の収集と発信、試験・診断・調査等の活動を積極的に行い、もって、建築界の発展と国民生活の福祉に寄与することを目的として、1977年建設大臣より社団法人の設立が許可されました。

その後、公益法人制度改革により2012年4月に一般社団法人の認可を受け「一般社団法人 建築研究振興協会」として新たにスタートをいたしました。

現在、国土技術政策総合研究所および国立研究開発法人建築研究所等の研究成果の普及を図るとともに、各種調査研究の受託、建物調査、工事用材料の試験、耐震診断・補強設計の評定等を行って、建築界の発展と国民生活の福祉に寄与する努力をしています。

また、1995年の阪神・淡路大震災をきっかけとして、学識経験者・技術者による「耐震診断委員会」を設置して診断結果の評価・判定をしています。当協会の判定結果については、東京都その他多くの行政機関から公的機関による判定として高く評価されています。また、2012年には、学識者・専門家の指導のもと「既存建築物の耐震診断・耐震補強設計マニュアル（2012年版）」さらに2018年度には「同マニュアル（2018年版）」の出版を行い社会的にも大きな貢献を果たしてまいりました。

このように建築研究振興協会ならではの特長を生かして、建築界における社会的貢献に積極的に取り組むべく、様々な活動を実施しております。